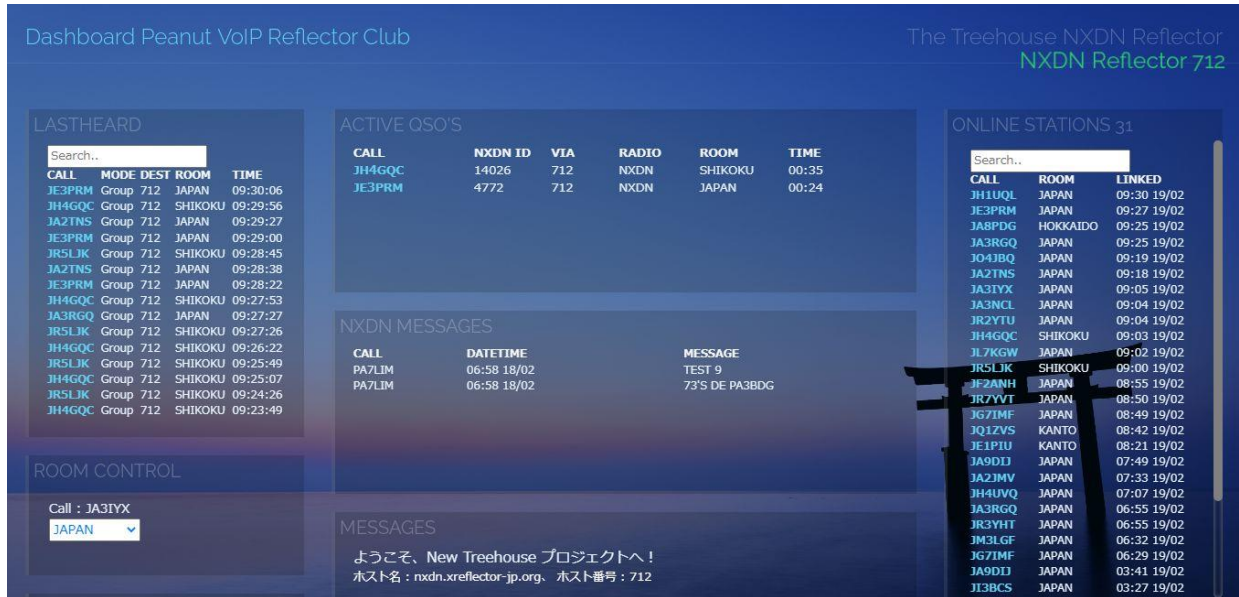


***** BlueDV で NXDN JAPAN を使用する *****



ダッシュボードです。 <http://nxdn.xreflector-jp.org/> ←ここをクリックしてご覧ください。

1. Treehouse NXDN Reflector NXDN JAPAN の特徴
2. BlueDV for Windows の AMBE 使用でのパソコンからの手順
3. スマホ(BlueDV AMBE)とパソコンからの手順
4. スマホ(BlueDV AMBE)で画面分割時のルーム変更の手順
- 5..ルーム一覧
- 6..ダッシュボードの概要
- 7..使用上の注意事項



4モードの同時使用が可能です

1. Treehouse NXDN Reflector NXDN JAPAN の特徴

- ・複数のルームが使用可能
- ・ダッシュボードでルームの変更が可能
- ・次回ログイン時には前回終了時のルームに自動接続
- ・ダッシュボードですべてのルームの交信状況を確認可能
- ・複数のログインが可能



外出時にスマホで使用可能です

2. BlueDV for Windows の AMBE 使用でのパソコンからの手順

- 1-1. 画面左側の MODE 切替で NXDN を選択する。
 2. 画面上部左側のリンク先で 712 を選択する。(選択候補の上部にあります。)
 3. そして接続ボタンを押すと接続します。アナウンスはありません。
 4. 実際の交信時に、AMBE パネルで NXDN ゲイン (MIC&SPK) を調整する。
MIC のゲイン調整は必須です。調整の目安値 -5 使用機種により最適値は異なります。
- 2-1. ダッシュボードを表示する。 <http://nxdn.xreflector-jp.org/>
 2. 画面左側に ROOM CONTROL がありますので、プルダウンメニューから使用するルームを選択する。(JAPAN に多くおられます。5. ルーム一覧及び6. ダッシュボードの概要参照)
なお、この ROOM CONTROL は、ログインしたのと同じのグローバル IP でダッシュボードを見ないと表示されません。

3. スマホ(BlueDV AMBE)とパソコンからの手順

- 1-1. 画面上部左側の MODE 切替で NXD を選択する。
 2. 右のリンク先で 712 を選択する。(選択候補の上部にあります。)
 3. そして CON で接続し電話マークを押すと接続します。アナウンスはありません。
 4. 実際の交信時に、AMBE パネルで NXDN ゲイン(input&output)を調整する。
input のゲイン調整は必須です。調整の目安値 -16 使用機種により最適値は異なります。
- 2-1. 宅内のパソコンでダッシュボードを表示する。 <http://nxdn.xreflector-jp.org/>
 2. 画面左側に ROOM CONTROL がありますので、プルダウンメニューから使用するルームを選択する。(JAPAN に多くおられます。5. ルーム一覧及び 6. ダッシュボードの概要参照)
なお、この ROOM CONTROL は、ログインしたのと同じのグローバル IP でダッシュボードを見ないと表示されません。

スマホを 4G 回線に切り替えても使用できます。(AMBE Server IP の変更を忘れずに！)

(注) スマホの 4G 回線で使用するには、サーバー側での AMBE PORT (例 2465) の開放が必要です。

4. スマホ(BlueDV AMBE)で画面分割時のルーム変更の手順(宅内 WiFi・4G 回線共)



Android 9 での画面分割方法 (7・8・10・11 はスマホの取説参照)

1. Chrome を起動し NXDN 712 のダッシュボードを表示する。
2. 画面下部の「□」をタップしアプリの履歴画面を表示する。
3. 履歴画面でアプリ上部の Chrome アイコンをタップして「分割画面」を選択する。
4. BlueDV AMBE を起動すると画面下部に表示され 2 画面になるので、NXD 712 にログインする。

ルームの変更方法

1. 画面上部のダッシュボードで ROOMCONTROL のプルダウンメニューから使用するルームを選択する。
2. 下部の BlueDV AMBE 画面をタップすれば、変更後のルームで送信できます。

画面分割の解除方法

1. 画面分割を終了するには、真ん中に表示されているバーを上下にスライド (スワイプやドラッグ) します。
真ん中のバーをスライドさせた方のアプリが終了し、一画面表示に戻ります。

BlueDV AMBE の画面表示範囲が狭くて電話マークが表示されない時は、スマホの設定で「ディスプレイ→詳細設定→表示サイズ」を縮小して試してください。反対に電話マークが小さい時は、拡大を試してください。(電話マークを押せないと接続できません。)

5. ルーム一覧

DEST	ROOM	DESCRIPTION
100	JAPAN	Japan room
110	KANTO	関東エリア
120	TOKAI	東海エリア
130	KINKI	近畿エリア
140	CHUGOKU	中国エリア
150	SHIKOKU	四国エリア
160	KYUSHU	九州エリア
170	TOHOKU	東北エリア
180	HOKKAIDO	北海道エリア
190	HOKURIKU	北陸エリア
199	SHINETSU	信越エリア

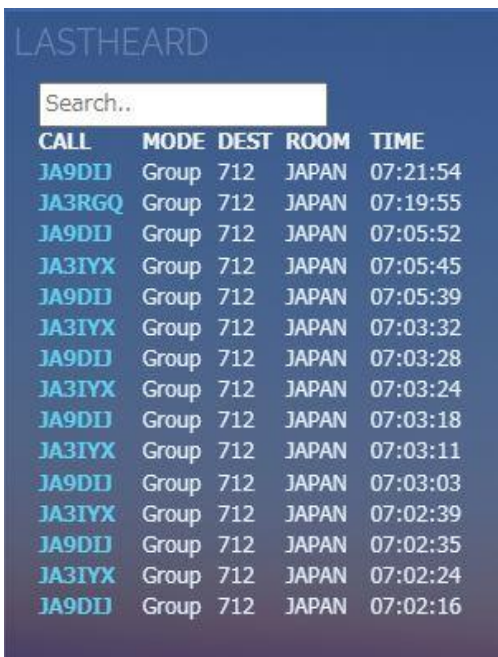
メインルームです。
KANTO から SHINETSU は、サブルームです。



Japan room 以外のルームは、コールサインのエリアに関係なく空いていれば自由に利用して下さい。

6. ダッシュボードの概要

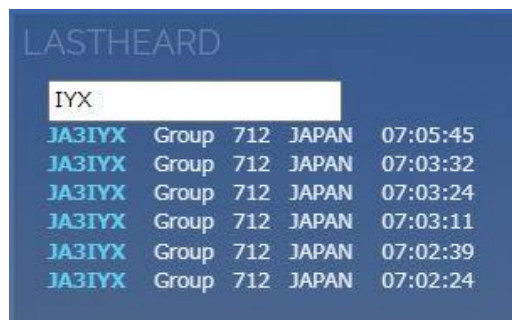
1. LASTHEARD



NXDN JAPAN に接続して送信した局が表示されます。

最大 15 局のリストが表示されます。

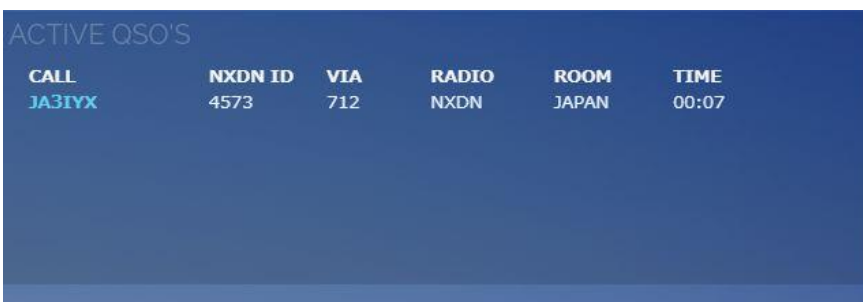
コールサイン、モード、接続先、ルーム及び送信時刻が表示されます。(この例では、最新の送信は JA9DIJ 局でモードは Group、接続先は 712、ルームは JAPAN、時刻は 07:21:54 です。)



検索した局のみが表示されます。

Search の窓に、文字を入れるとその文字が含まれている情報を表示します。

2. ACTIVE QSO'S



現在交信中の局が表示されます。

全てのルームの何れかに接続し送信した局が表示されます。同時に複数のルームで送信がされた場合も表示されます。

3. ONLINE STATIONS



現在接続中の局が表示されます。

コールサイン、ルーム及びログイン時刻が表示されます。

ここを見ると、対象局が使用中のルームと接続開始時刻が判ります。(この例では、最新の接続局は JA3IYX 局でルームは JAPAN、時刻は 10:34 です。)

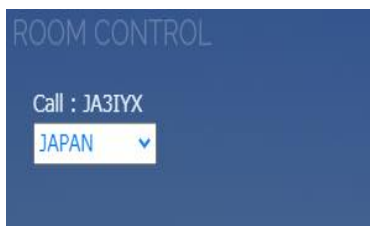


検索した局のみが表示されます。

Search の窓に、文字を入れるとその文字が含まれている情報を表示します。

4. ROOM CONTROL

ここでルームの変更が出来ます。

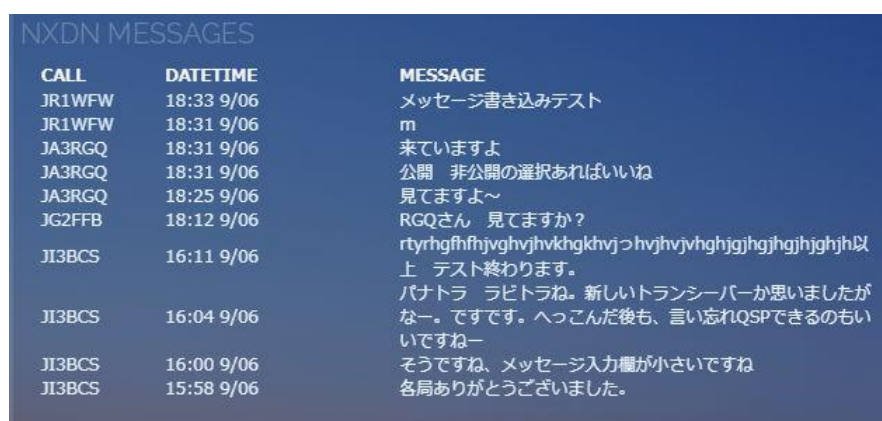
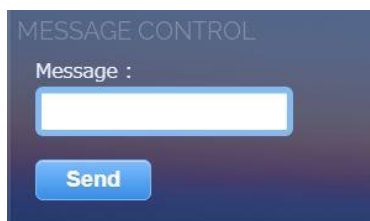


白いボックスの右側の矢印をクリックすると、選択メニューが開きます。CHUGOKU 以下はスクロールバーで下部に移動して選択してください。

目的のルームをマウスでクリックすると、変更出来ます。(この例では、JAPAN を選択しています。)

5. MESSAGE CONTROL

ここに Message を入力し、Send ボタン を押すと NXDN MESSAGES 欄 に表示されます。



チャット形式で各種の連絡が可能です。

7. 使用上の注意事項

BlueDV for Windows のバージョンは必ず最新版をご使用ください。

ルーム番号 110-199 は QTH のエリアに関係なく空いていれば自由にご利用ください。

新規登録局を表示するには、コールサインデータベースを手動で更新して下さい。

他のリフレクター (DMR、DSTAR) をこのリフレクターにリンクしないでください。

【謝辞】

Treehouse Reflector は、David PA7LIM 氏が開発されたソフトウェアです。

このような素晴らしいソフトを作成し、使用させていただけることに感謝いたします。

【最新バージョン】

BlueDV for Windows Version 1.0.0.9632 <http://software.pa7lim.nl/BlueDV/BETA/Windows/>

BlueDV AMBE for Android V1.0.104 Play ストアよりダウンロードして下さい。

公開 AMBE サーバー この 2 P を参照 <http://xrf673.xreflector-jp.org/info/SOUKAN.pdf>

【番外編】

ここで DMR ID / NXDN ID 両方が取得できます。

<https://radioid.net/>

DMR の BM (BrandMeister) サーバー接続に必要です。

[Hotspot Password の設定方法](#)

【番外編の番外】

DMR BM Group Call の手順

- 44120 がメインルームです。
 ルームは自由に作成し使用できます。
 (例) 44121 を使用する場合
- ① 44120 G に接続している場合は、4000 を一度送信して切断する。
 - ② 44121 G に変更し、一度送信する。
 - ③ これで、44121 G に接続されます。
 - ④ 送信すると 44121 G に送信できます。

 - ⑤ 再度 44120 G に接続する場合は、44120 G で一度送信すれば接続されます。

DMR BM Private Call の手順

- ① 44120 G に接続している場合は、4000 を一度送信して切断する。
- ② BM 検索で相手局の DMR ID を探して、検索結果のコールサインをクリックすると、自動的に相手局の DMR ID が入力されて P に変わる。(直接入力も可)
- ③ これで送信すると相手局のみに送信できます。

- ④ 再度 44120 G に接続する場合は、44120 G で一度送信すれば接続されます。

(注) DMR BM の japan サーバーはありませんが、任意の海外サーバーに接続し使用可能です。

【VoIP Reflector Club 運営サーバー】

Peanut Japan <http://peanut.xreflector-jp.org/index.html>

Japan Fusion Link <http://japanlink.xreflector-jp.org/index.html>

NXDN Reflector 712 <http://nxdn.xreflector-jp.org/index.html>

IPSC2 Japan <http://dmrplus.xreflector-jp.org/ipsc/>

Nora Dstar Proxy proxy.xreflector-jp.org

にゃー



【更新履歴】

2023/06/09

ver. 1.0.3

6. ダッシュボードの概要に MESSAGE CONTROL を追加

***** BlueDV で YSF JAPANLINK を使用する *****

ダッシュボードです。 <http://japanlink.xreflector-jp.org/> ←ここをクリックしてご覧ください。

1. Treehouse Fusion Reflector YSF JAPANLINK の特徴
2. BlueDV for Windows の AMBE 使用でのパソコンからの手順
3. スマホ(BlueDV AMBE)とパソコンからの手順
4. スマホ(BlueDV AMBE)で画面分割時のルーム変更の手順
5. 無線機(FT-3D 等)使用でのパソコンからの手順
6. 無線機の VW モードを使用した場合の留意点
7. ルーム一覧
8. ダッシュボードの概要



4 モードの同時使用が可能です

8. Treehouse Fusion Reflector YSF JAPANLINK の特徴

- ・複数のルームが使用可能
- ・DN および VW モードが使用可能
- ・ダッシュボードでルームの変更が可能
- BlueDV+DVMEGA で、DGID を使用してルーム変更が可能
- ・次回ログイン時には前回終了時のルームに自動接続
- ・ダッシュボードですべてのルームの交信状況を確認可能
- ・複数のログインが可能



外出時にスマホで使用可能です

9. BlueDV for Windows の AMBE 使用でのパソコンからの手順

- 1-1. 画面左側の MODE 切替で FUSION を選択し、画面上部中央の種類で YSF を選択する。
 2. 画面上部左側のリンク先で JAPANLINK を選択する。(選択候補のだいぶ下部にあります。)
 3. そして接続ボタンを押すと接続します。アナウンスはありません。
 4. 実際の交信時に、AMBE パネルで FUSION ゲイン(MIC&SPK)を調整する。
MIC のゲイン調整は必須です。調整の目安値 -10 使用機種により最適値は異なります。
- 2-1. ダッシュボードを表示する。 <http://japanlink.xreflector-jp.org/>
 2. 画面左側に ROOM CONTROL がありますので、プルダウンメニューから使用するルームを選択する。(JAPAN に多くおられます。7. ルーム一覧及び 8. ダッシュボードの概要参照)
なお、この ROOM CONTROL は、ログインしたのと同じのグローバル IP でダッシュボードを見ないと表示されません。

10. スマホ(BlueDV AMBE)とパソコンからの手順

- 1-1. 画面上部左側の MODE 切替で YSF を選択する。
 2. 右のリンク先で JAPANLINK を選択する。(だいたい下部にあります。)
 3. そして CON で接続し電話マークを押すと接続します。アナウンスはありません。
 4. 実際の交信時に、AMBE パネルで C4FM ゲイン(input&output)を調整する。
input のゲイン調整は必須です。調整の目安値 -16 使用機種により最適値は異なります。
- 2-1. 宅内のパソコンでダッシュボードを表示する。 <http://japanlink.xreflector-jp.org/>
 2. 画面左側に ROOM CONTROL がありますので、プルダウンメニューから使用するルームを選択する。(JAPAN に多くおられます。7. ルーム一覧及び 8. ダッシュボードの概要参照)
なお、この ROOM CONTROL は、ログインしたのと同じグローバル IP でダッシュボードを見ないと表示されません。

スマホを 4G 回線に切り替えても使用できます。(AMBE Server IP の変更を忘れずに！)

(注) スマホの 4G 回線で使用するには、サーバー側での AMBE PORT (例 2465) の開放が必要です。

11. スマホ(BlueDV AMBE)で画面分割時のルーム変更の手順



Android 9 での画面分割方法 (7・8・10・11 はスマホの取説参照)

1. Chrome を起動し JAPANLINK のダッシュボードを表示する。
2. 画面下部の「□」をタップしアプリの履歴画面を表示する。
3. 履歴画面でアプリ上部の Chrome アイコンをタップして「分割画面」を選択する。
4. BlueDV AMBE を起動すると画面下部に表示され 2 画面になるので、JAPANLINK にログインする。

ルームの変更方法

1. 画面上部のダッシュボードで ROOMCONTROL のプルダウンメニューから使用するルームを選択する。
2. 下部の BlueDV AMBE 画面をタップすれば、変更後のルームで送信できます。

画面分割の解除方法

1. 画面分割を終了するには、真ん中に表示されているバーを上下にスライド (スワイプやドラッグ) します。
真ん中のバーをスライドさせた方のアプリが終了し、一画面表示に戻ります。

BlueDV AMBE の画面表示範囲が狭くて電話マークが表示されない時は、スマホの設定で「ディスプレイ→詳細設定→表示サイズ」を縮小して試してください。反対に電話マークが小さい時は、拡大を試してください。(電話マークを押せないと接続できません。)

12. 無線機(FT-3D 等)使用でのパソコンからの手順

- 1-1. 画面左側の MODE 切替で FUSION を選択する。
 2. 画面上部左側のリンク先で JAPANLINK を選択する。(選択候補のだいぶ下部にあります。)
 3. そして接続ボタンを押すと接続します。アナウンスはありません。
 - 2-1. ダッシュボードを表示する。 <http://japanlink.xreflector-jp.org/>
 2. 画面左側に ROOM CONTROL がありますので、プルダウンメニューから使用するルームを選択する。(JAPAN に多くおられます。8. ルーム一覧及び 9. ダッシュボードの概要参照)
なお、この ROOM CONTROL は、ログインしたのと同じのグローバル IP でダッシュボードを見ないと表示されません。
 - 3-1. 無線機の DG-ID を使用してもルーム変更が可能です。(設定方法は各機種の取説参照)
 2. 無線機で送信したメッセージがダッシュボードの ROOM MESSAGE 欄に表示されます。(8. ルーム一覧 98 MESSAGES room 及び 9-5 ROOM MESSAGES 参照)
- (注) 無線機での使用には、DVMEGA と USB インターフェイスが必要です。

13. 無線機の VW モードを使用した場合の留意点

無線機の VW モードを使用した場合には、BlueDV で受信すると AMBE3000 が Fusion WideVoice をサポートしていないため無変調になります。(FT-1D FT-2D FT-3D 等では聞こえます。)

「参考 FT-3D 取説より」

DN モード 通常のデジタルモードです。

デジタル音声信号とデーターを同時に伝送する、通話が途切れにくいモードです。

VW モード 12.5KHZ の帯域全てを使用してデジタル音声を電送する高品質なモードです。

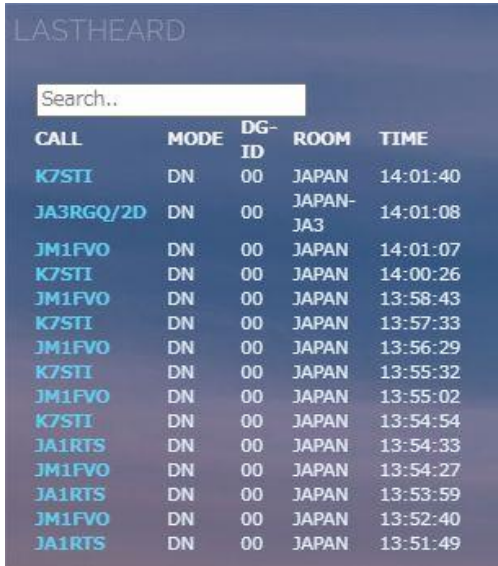
14. ルーム一覧

DG-ID	ROOM	DESCRIPTION	
01	PARROT	ECHO room	エコールームです。音声試験にお使ください。
02	WELCOME	Welcome room	初回のログイン時は、このルームになります。
09	JAPAN	Japan room	メインルームで、Peanut の YSF-JPN とリンクしています。
10	JAPAN-JA0	Area0 room	Area0 から Area9 は、サブルームです。
11	JAPAN-JA1	Area1 room	
12	JAPAN-JA2	Area2 room	
13	JAPAN-JA3	Area3 room	
14	JAPAN-JA4	Area4 room	
15	JAPAN-JA5	Area5 room	
16	JAPAN-JA6	Area6 room	
17	JAPAN-JA7	Area7 room	
18	JAPAN-JA8	Area8 room	
19	JAPAN-JA9	Area9 room	
88	JAPAN-88	YL room	YL 優先ルームです。OM も参加可能です！！
89	JAPAN-DX	DX room	海外在住の日本人の方との QSO 優先ルームです。
96	PICTURES	Picture room	写真等の電送用です。
97	JAPAN-DATA	DATA room	無線機での文字電送用、音声会話も可能です。
98	MESSAGES	MESSAGES room	無線機で送信したメッセージがダッシュボードの ROOM MESSAGES 欄に表示されます。(9-5 参照)
99	TEST	Test room	テストルームです。各種試験にお使ください。



15. ダッシュボードの概要

1. LASTHEARD

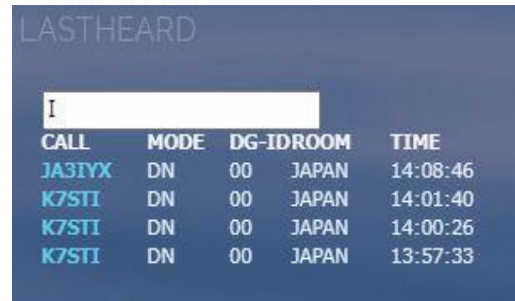


CALL	MODE	DG-ID	ROOM	TIME
K7STI	DN	00	JAPAN	14:01:40
JA3RGQ/2D	DN	00	JAPAN-JA3	14:01:08
JM1FVO	DN	00	JAPAN	14:01:07
K7STI	DN	00	JAPAN	14:00:26
JM1FVO	DN	00	JAPAN	13:58:43
K7STI	DN	00	JAPAN	13:57:33
JM1FVO	DN	00	JAPAN	13:56:29
K7STI	DN	00	JAPAN	13:55:32
JM1FVO	DN	00	JAPAN	13:55:02
K7STI	DN	00	JAPAN	13:54:54
JA1RTS	DN	00	JAPAN	13:54:33
JM1FVO	DN	00	JAPAN	13:54:27
JA1RTS	DN	00	JAPAN	13:53:59
JM1FVO	DN	00	JAPAN	13:52:40
JA1RTS	DN	00	JAPAN	13:51:49

JAPANLINK に接続して送信した局が表示されます。

最大 15 局のリストが表示されます。

コールサイン、モード、DG-ID、ルーム及び送信時刻が表示されます。(この例では、最新の送信は K7STI 局でモードは DN、DG-ID は 00、ルームは JAPAN、時刻は 14:01:40 です。)

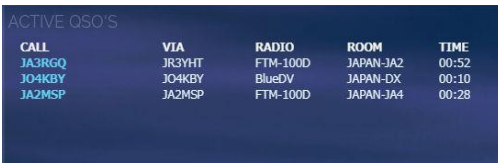


CALL	MODE	DG-ID	ROOM	TIME
JA3IYX	DN	00	JAPAN	14:08:46
K7STI	DN	00	JAPAN	14:01:40
K7STI	DN	00	JAPAN	14:00:26
K7STI	DN	00	JAPAN	13:57:33

検索した局のみが表示されます。

Search の窓に、文字を入れるとその文字が含まれている情報を表示します。

2. ACTIVE QSO'S



CALL	VIA	RADIO	ROOM	TIME
JA3RGQ	JR3YHT	FTM-100D	JAPAN-JA2	00:52
J04KBV	J04KBV	BlueDV	JAPAN-DX	00:10
JA2MSP	JA2MSP	FTM-100D	JAPAN-JA4	00:28

現在交信中の局が表示されます。

全てのルームの何れかに接続し送信した局が表示されます。

同時に複数のルームで送信がされた場合も表示されます。

(この例では、JA2 DX JA4 ルームの 3 局が送信中です。)

3. ONLINE STATIONS



CALL	ROOM	LINKED
JL6PHK	JAPAN	14:09 18/08
JA3IYX	JAPAN	14:01 18/08
JA2MSP	JAPAN	13:50 18/08
JA5CVU	JAPAN	13:23 18/08
JH1TWC	WELCOME	13:19 18/08
JE6WHX	JAPAN	13:14 18/08
JA9DJ	JAPAN	13:07 18/08
JP7FYZ	JAPAN-DATA	13:04 18/08
J13BCS	JAPAN	13:00 18/08
JQ2QME	JAPAN	12:58 18/08
JM1ZIL	JAPAN	10:45 18/08
PA7LIM	PARROT	10:26 18/08
JE3FEI	JAPAN	09:39 18/08
JA3DYM	JAPAN-JA3	09:37 18/08
KM6GFG	JAPAN	09:23 18/08
JA4FCV	JAPAN-JA4	09:20 18/08
JE3PRM	JAPAN	08:47 18/08
JE3FEI	JAPAN-JA3	08:32 18/08
JA9DIJ	JAPAN	08:11 18/08
JP7FYZ	JAPAN-DATA	08:07 18/08
JG2FFB	JAPAN	07:59 18/08
JM1FVO	JAPAN	07:51 18/08

現在接続中の局が表示されます。

28 局以上の場合、スクロールバーで下部に移動して確認できます。コールサイン、ルーム及びログイン時刻が表示されます。

ここを見ると、対象局が使用中のルームと接続開始時刻が判ります。(この例では、最新の接続局は JL6PHK 局でルームは JAPAN、時刻は 14:09、総接続局数は 62 局です。)



CALL	ROOM	LINKED
JA3IYX	JAPAN	14:01 18/08
JA3DYM	JAPAN-JA3	09:37 18/08
JE3FEI	JAPAN-JA3	08:32 18/08
JA3RGQ	JAPAN	06:05 18/08
JD1BMT	JAPAN-JA3	03:25 18/08
JE4YTB	JAPAN-JA3	03:25 18/08
JA3NCL	JAPAN	02:43 18/08
JA3KAR	JAPAN	23:01 17/08
JR3YHT	JAPAN-JA3	22:03 17/08
JA3NCL	JAPAN-JA3	22:03 17/08

検索した局のみが表示されます。

Search の窓に、文字を入れるとその文字が含まれている情報を表示します。特定の条件で探すのに便利です。

CALL・ROOM・LINKED の全ての文字から検索します。

下部に隠れている局も探せます。

「例」88 で JAPAN-88 の局を探せます。

4. ROOM CONTROL



ここでルームの変更が出来ます。

白いボックスの右側の矢印をクリックすると、選択メニューが開きます。JAPAN-JA2 以下はスクロールバーで下部に移動して選択してください。

目的のルームをマウスでクリックすると、変更出来ます。(この例では、JAPAN を選択しています。)

16. ROOM MESSAGES



無線機で送信したメッセージが表示されます。

(無線機の操作は下記をご覧ください。)

http://www.yaesu.com/jp/manuals/yaesu_m/FT1D_XD_GM_Manual_JPN_1708-B.pdf (FT-1D P11 参照)

https://www.yaesu.com/jp/amateur_index/product/ft2d/FT2D_GM_Manual_JPN_1807-C.pdf (FT-2D P6 参照)

https://www.yaesu.com/jp/amateur_index/product/ft3d/FT3D_GM_Manual_JPN_1907-A.pdf (FT-3D P7 参照)

【謝辞】

Treehouse Fusion Reflector は、David PA7LIM 氏が開発されたソフトウェアです。
この様な素晴らしいソフトを作成し、使用させていただけることに感謝いたします。

【最新バージョン】

BlueDV for Windows Version 1.0.0.9632

<http://software.pa7lim.nl/BlueDV/BETA/Windows/>

BlueDV AMBE for Android V1.0.104

Play ストアよりダウンロードして下さい。

公開 AMBE サーバー この 2 P を参照

<http://xrf673.xreflector-jp.org/info/SOUKAN.pdf>

【番外編】

DMR BM Group Call の手順

- 44120 がメインルームです。
ルームは自由に作成し使用できます。
(例) 44121 を使用する場合
- ⑥ 44120 G に接続している場合は、4000 を一度送信して切断する。
 - ⑦ 44121 G に変更し、一度送信する。
 - ⑧ これで、44121 G に接続されます。
 - ⑨ 送信すると 44121 G に送信できます。

 - ⑩ 再度 44120 G に接続する場合は、44120 G で一度送信すれば接続されます。

DMR BM Private Call の手順

- ⑤ 44120 G に接続している場合は、4000 を一度送信して切断する。
- ⑥ BM 検索で相手局の DMR ID を探して、検索結果のコールサインをクリックすると、自動的に相手局の DMR ID が入力されて P に変わる。(直接入力も可)
- ⑦ これで送信すると相手局のみに送信できます。

- ⑧ 再度 44120 G に接続する場合は、44120 G で一度送信すれば接続されます。

(注) DMR BM の japan サーバーはありませんが、任意の海外サーバーに接続し使用可能です。

【VoIP Reflector Club 運営サーバー】

Peanut Japan <http://peanut.xreflector-jp.org/index.html>

Japan Fusion Link <http://japanlink.xreflector-jp.org/index.html>

NXDN Reflector 712 <http://nxdn.xreflector-jp.org/index.html>

にゃー

IPSC2 Japan <http://dmrplus.xreflector-jp.org/ipsc/>

Nora Dstar Proxy proxy.xreflector-jp.org



【更新履歴】

2022/10/14

ver. 1.0.3

ルーム一覧を最新状況に修正